

**数学**

問1：

会話文における母親の主張に含まれる複数の問題点を整理できているか、それらの問題点に対し、与えられたデータに基づいて多様な視点から考察し、ヒストグラムや散布図などの図や、平均値、標準偏差などの具体的な数値を用いて、その図や数値が意味するところを示しながら説得力のある反論を展開できているか、を評価のポイントとする。

解答を通じて、指示された内容を適切に判断して課題を発見する力があるか、高校数学で学んだ知識を日常生活で応用する力があるか、また、それらを他者が納得できるように論理的かつ適切に説明する表現力があるかを評価する。

問2：

与えられたテーマを中学生に理解させるため、中学生に馴染みのある日常生活でよく見られるデータを設定できているか、そのデータはテーマの内容を説明するために適切なものであるか、そして授業計画がグループで学び合うような機会となるように企画されているか、を評価のポイントとする。

解答を通じて、日常生活で目にするデータに対する関心や観察力があるか、テーマや対象を考慮した上で理解に向けた授業を企画する力があるか、グループでの協働作業を促す実現可能性のある計画を立案する力があるか、そして、それらを論理的かつ適切に説明する表現力があるかを評価する。

**理科**

問1：

①電磁波、放射、絶対温度に関する基礎を理解しているか、②提示されたグラフを読み取り、そこから得られる知見を論理的に記述できるか、③赤外放射が様々な波長の電磁波を含んでいることを考慮しながら、指定された機器の仕組みについて持てる知識・経験と組合せて考察し、論理的に記述できるか、を評価のポイントとする。

解答を通じて、身の周りで日常的によく利用されている機器やその仕組みに対して興味・関心を持ち、学校等での学びの延長として知識を応用する力があるか、また、それらに対する考察を、他者に伝わるように論理的かつ適切に説明する表現力があるかを評価する。

問2：

問1で記述した内容をふまえ、与えられたテーマについて高校生が理解するために必要と考えられる実験等を想定しているか、そして授業計画がグループで学び合うような機会となるように企画されているか、を評価のポイントとする。「測定精度」の定義づけを行い、それが確認できる内容が含まれているか、また、授業のサポートに校外からどのような分野の専門家を招き、どのような役割を担ってもらうことが必要であると判断したのかもポイントとする。

解答を通じて、日常生活で使用する機器の仕組みや原理への関心や観察力があるか、その確認に必要なことを選択して授業を企画する力があるか、グループでの協働作業を促す実現可能性のある計画を立案する力があるか、そして、それらを論理的かつ適切に説明する表現力があるかを評価する。